

2024

11.27 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_vbA76fJGTN-gU2EQRHC_fw

【技術支援】九州大学 Q-AOS

脂肪の“さび”について考える



Key Words

酸化脂質

レドックス

質量分析

疾患

ドラッグリポジショニング

山田 健一 教授

九州大学 大学院薬学研究院 分子病態解析学分野

1994年に九州大学薬学部を卒業し、1999年3月に九州大学大学院薬学研究院にて博士(薬学)の学位を取得しました。その後、アメリカ National Institutes of Health (NIH) の National Cancer Institute (NCI) に2年間、留学しております。2002年より九州大学大学院薬学研究院助手、2005年に助教授(後、准教授)、2016年より同教授に就任しております。その間、2013年にJST さきがけ、2017年からはAMED-CREST 研究代表者を務めております。さらに、2023年12月からは、主幹教授であります。以前は磁気共鳴を専門としておりましたが、2009年に独立し、今回ご紹介いたします酸化脂質をターゲットとした研究テーマを新たに立ち上げております。

脂肪には、多くの種類があります。中でもアラキドン酸などの多価不飽和脂肪酸は、活性酸素や紫外線などによって、容易に酸化されます。この酸化という反応が、いわゆる脂肪の“さび”であります。最近になって、この酸化脂質が、生体内で炎症反応や細胞死を引き起こすこと、また、加齢黄斑変性など多くの疾患で蓄積していることが分かってきております。

そこで本セミナーでは、酸化脂質を検出する手法について、さらに、この酸化脂質生成を抑制できるような分子の探索方法についてご紹介いたします。